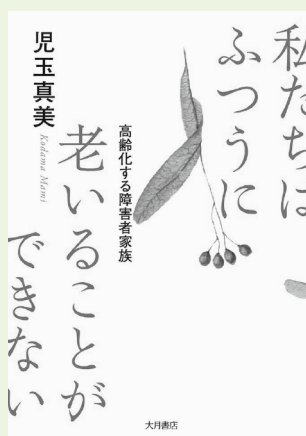


今月の

5冊



私たちはふつうに老いることができない
高齡化する障害者家族

児玉真美＝著
本体1800円＋税
大月書店 ☎03-3813-4651

障害のある子どもの親たちだって、当然、老い衰え、病みもする存在だ。その一方で、制度や支援のあり方は、親を含めた家族の存在を単に「介護機能」と見なすようなものではなかっただろうか。障害者家族への丁寧な聞き取りをまとめた本書は、障害者家族の実情を描き、支援の在り様の再考を迫る。

世界一わかりやすい
「医療政策」の教科書

津川友介＝著
本体3000円＋税
医学書院 ☎03-3817-5600



セオリー（学問的な理論）とエビデンスの両方を兼ね備え、綿密にデザインされた医療政策とは何か。ハーバード大学の博士課程で学び、UCLAで教える著者が、医療政策・医療経済学に関するセオリーとエビデンスのうち、普遍性があり、日本の医療にも適用できるものを中心に紹介する。医療政策を学ぶ人にとって理想的な入門書。

ソーシャルワーカーになりたい
自己との対話を通した支援の解体新書

芦沢茂喜、山岸倫子＝著
本体2000円＋税
生活書院 ☎03-3226-1203



精神保健福祉士・社会福祉士としてソーシャルワークに携わり、現場では中堅となった著者らが、これまでの実践を掘り下げ、「ソーシャルワークとは何か」「ソーシャルワーカーになるとはどういうことか」を問い直していく。対象者との関わりの中で抱いた悩みや思いを「解体」する過程は、自らの実践を振り返る契機となるはず。

全国認知症カフェガイドブック
認知症のイメージを変えるソーシャル・イノベーション

コスガ聡一＝著
本体2000円＋税
クリエイツかもがわ ☎075-661-5741



全国の認知症カフェ200か所以上を取材した蓄積から、その特徴を自動サポート系、地域公共サービス系、オープンコミュニケーション系、それぞれの拡散型と特化型、そしてオランダ発祥のアルツハイマーカフェを加えた7つに類型化。この枠組みに沿って個性的な28か所を写真付きで紹介した、認知症カフェ初めてのガイドブック。

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)
実践ガイド

患者・利用者の生き方・暮らしに焦点をあてた
意思決定支援に向けて
池永昌之、濱吉美穂＝著
本体2600円＋税
中央法規出版 ☎03-3834-5817



ACPの基本的な考え方から、疾患/場面ごとの事例とコミュニケーションのプロセスを解説した本書。ACPを始めたい看護師やケアマネジャーにとって、格好の入門書であるとともに、具体的な介入方法や進め方が分かる実践的なガイド。理解を深めるためのロールプレイやワークも収載し、現場での研修にも活用できる1冊。